

船舶事故等調査報告書

平成23年9月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第77号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年1月15日 14時30分ごろ	
発生場所	福岡県苅田町 苅田港本港岸壁物揚場沖 苅田港東防波堤灯台から真方位246° 2,400m付近 (概位 北緯33° 47.3′ 東経130° 59.4′)	
事故等調査の経過	平成23年6月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 <sup>ひので</sup>日之出丸、499トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 133252、出口産業株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、三級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾船底外板に凹損、プロペラ翼先に欠損及び曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、碎石約800m<sup>3</sup>をほぼ満載し、船首約3.5m、船尾約4.9mの喫水で苅田港本港岸壁の物揚場に着岸作業中、平成23年1月15日14時30分ごろ、岸壁付近に沈んでいた碎石等に乗揚げた。</p> <p>その後、本船は、自力で航行を続けた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北西、風力 2</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約220cm</p>	
その他の事項	<p>船長は、苅田港本港岸壁の物揚場に着岸するのは初めてであった。</p> <p>船長は、入港に当たり、苅田港付近の海図W127（1/50,000）及びW129（1/12,500）のうち、本港岸壁付近の水深の記載がないW127を使って港内の状況を確認していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、苅田港本港岸壁の物揚場に着岸作業中、船長が、大尺度の海図によって物揚場付近の水深の調査を行っていなかったことから、同物揚場付近に浅所が存在していることに気付かず、同浅所に乗揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、苅田港本港岸壁の物揚場に着岸作業中、船長が、同物揚場付近の水深の調査を行っていなかったため、同物揚場付近の浅所に乗揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	